

★★★ <知的財産翻訳検定【第4回<和文英訳>試験】>問題 ★★★

《選択課題 -機械工学分野-》

【解答にあたっての注意】

1. ***START***から***END***までを英訳してください。
2. 解答語数に特に制限はありません。
3. 課題文に段落番号がある場合、これを訳文に記載してください。
4. 課題に図面が添付されている場合、該当する図面を参照してください。★「課題図表の表示／非表示」リンクで表示

【問1】

次の請求項を米国出願用のクレームとして、課題図表1を参照し（※「課題図表1の表示／非表示」リンクで表示）、STARTからENDまで英訳してください。

START

圧力調整器

【特許請求の範囲】

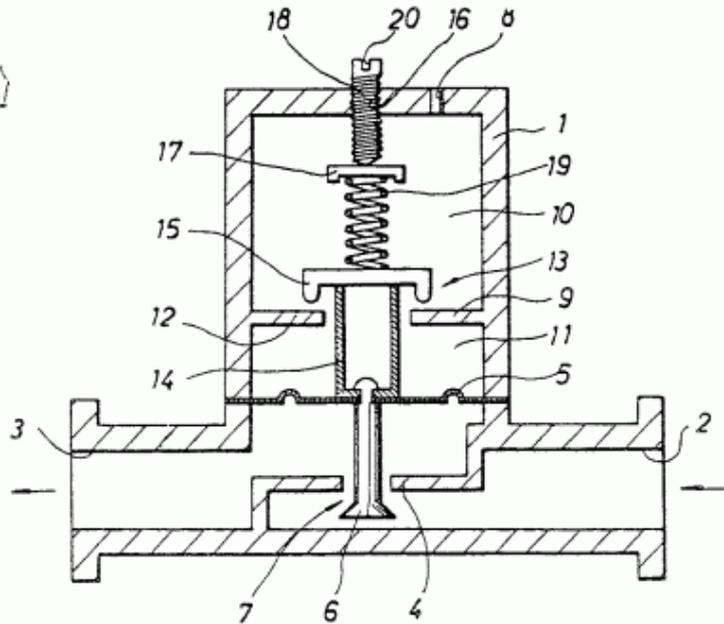
【請求項1】 内部を仕切り壁により2室に画成する外側ケーシングを有し、前記仕切り壁には前記2室間を連通する流体通路を設け、更に前記ケーシングの1室内に内に設けられ、下面で調整すべき流体圧を受けるダイヤフラムと、前記ダイヤフラムにより作動する弁体と、この弁体と共に弁部を形成する弁座と、前記ケーシングの他の1室内に設けられ、ダイヤフラムの上面側に前記弁部が開弁する方向の力を与えるスプリングとを有する、圧力調整器において、前記ケーシングの他の1室内に設けられ、前記ダイヤフラムの変位に連動して前記仕切り壁部に設けられた流体通路の連通を遮断するようにした弁部を設けたことを特徴とする、圧力調整器。

【請求項2】 前記ケーシングにはねじ孔が設けられ、このねじ孔には調整ねじが螺合され前記スプリングを圧縮するようにした、請求項1記載の圧力調整器。

END

【問. 1-圧力調整器：＜課題図表1＞】

〈圧力調整器〉



300

【問2】

START から END まで英訳してください。

START

【背景技術】

船外機は、未使用時にはブラケット装置のチルト軸を中心にチルトアップした状態で保管することが一般的であるが、小型の船外機では専ら人力でチルトアップ操作を行っている。しかしながら、例え小型の船外機であっても相当な重量があり、人力でチルトアップ操作を行うのが困難な場合がある。そこで、人力によるチルトアップ操作を補助するために、ガスアシストシリンダ等のアシスト装置を装備した船外機が提案されている。

このようなアシスト装置を装備するとチルトアップ操作は容易になる反面、船外機全体の重量が増加し、またコストも増加する。本発明は上述した事情を考慮してなされたもので、アシスト装置を装備することなく容易に人力でチルトアップ操作を履行可能な船外機を提供することを目的とする。

END

【問 3】

課題図表を参照し（※本文中の図 1 は「課題図表 2 の表示／非表示」リンクで表示、図 2 は「課題図表 3 の表示／非表示」リンクで表示）、START から END まで英訳してください。

START

【発明の実施の形態】

図 1 に、本発明の一実施形態における直線転がり案内装置 1 を示す。

この直線転がり案内装置 1 は、軌道部材としての案内レール 4 と移動部材としての移動ブロック 2 から構成され、移動ブロック 2 が多数のボール 3、3... を介して案内レール 4 に支承されている。

移動ブロック 2 は、図 2 に示すように、移動ブロック本体 6 と、この移動ブロック本体 6 の両端に設けられたエンドプレート 7、8 とからなる。

移動ブロック本体 6 は、門形状断面を有し、案内レール 4 の上面と対向する水平部 6 a と、該水平部の両端部から案内レール 4 の左右側面 4 a と対向して垂下する一対の脚部 6 b とを備える。一対の脚部 6 b の内側面に、案内レール 4 の左右側面 4 a に設けられたボール転走溝 5 に対応する負荷ボール転走溝 9 が形成される。

また、移動ブロック本体 6 の負荷ボール転走溝 9 に沿って直線的に案内部 10 が形成される。

END

